

江戸川区発達障害相談センター開設!!

これまで区議会公明党が発達障害者(児)への支援を訴える中、かねてより要望していた専門的な窓口として「発達障害相談センター」が、**7月22日にオープン**しました。



江戸川区発達障害相談センター

場 所：グリーンパレス新館5階(江戸川区松島 1-38-1)

相談受付：月～金(9:00～16:30) ☎5662-7203

対象者(利用者)：

江戸川区にお住まいの知的障害を伴わない発達障害(またはその疑い)のある方と、その家族及びその支援者

役 割：① 専門的な相談窓口として、適切な支援につなぐ。
(保健師や心理士等専門職を置く)

② ライフステージに応じた支援を行うため、各機関のコーディネートをを行う。

③ 情報収集と適切な情報提供を行う。

④ 支援者の支援等の他、周辺事業の実施と事務局機能を担う。

平成26年第2回定例会報告

平成26年6月19日～7月2日(14日間)

平成26年第2回定例会が行われました。

ここでは、区議会公明党の本会議質疑の抜粋をお知らせ致します。

問 地域包括ケアシステムの構築について

答 介護保険事業計画等改定検討委員会の中で検討していく。地域力をどう高めるかという問題であり、多面的な生活支援も必要だと思う。できるだけ具体化する方向で考えている。



問 学力向上への取り組みについて



答 (教育長) 良い生活習慣を身につけて日々実践し、学習意欲に繋げていくことが大切である。また、読書科の取り組み効果も出てきている。

問 認知症の方や家族の方を地域で支えるネットワークの強化について

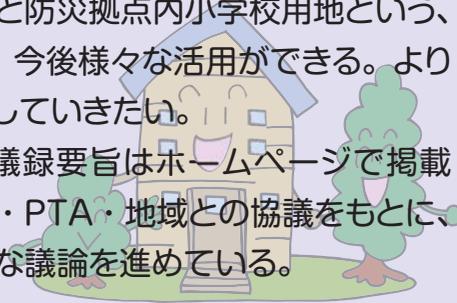
答 (福祉部長) 認知症による諸問題は喫緊の課題である。現在も様々な事業を展開しているが、今後もこれらを着実に実施し、関係機関と連携しながら、地域で見守るネットワークも強化していく。

問 介護予防・認知症予防のために「くつろぎの家」の活用を

答 (福祉部長) くつろぎの家は大切な地域資源の1つである。地域力をはじめ、多様な運営主体により、介護予防事業・認知症予防事業を展開していく。様々なメニューを研究し、いろいろな意見をいただきながら進めていきたい。

問 小松川・平井地域の学校統合及び学校改築について

答 条件が整い、小松川第二中学校が移転の運びとなった。既存の中学校の移転と防災拠点内小学校用地という、南北2つの土地が生まれ、今後様々な活用ができる。より良い小松川・平井地区にしていきたい。
(教育長) 学校統合の会議録要旨はホームページで掲載予定である。現在、学校・PTA・地域との協議をもとに、合意形成に向けて具体的な議論を進めている。



問 北葛西・西葛西地区の豪雨対策について

答 いかなる災害に対しても被害を最小限に留める努力をあらゆる方策を持ってやっていかなければならない。
(土木部長) 下水道局は、昨年12月に豪雨対策下水道緊急プランを策定し、この地域を小規模緊急地区に指定して、概ね3年以内に解消するよう取り組んでいる。区も連携し、準備を進めている。

問 今後の安全・安心の街づくりについて

答 平成25年は、平成16年以来、犯罪認知件数が23区ワースト1になってしまった。今年に入ってから地域の積極的な活動もあり、今日現在では少し改善している。今後も知恵を出し、地域と共に汚名返上に向けて取り組んでいく。

問 通学路の防犯カメラ設置の取り組みについて

答 (教育長) 防犯カメラは地域の見守り活動を補完し、通学路の安全を更に高めるために、今後5年間で全小学校73校で設置する。今年度は23校を仮申請中であり、決定次第、地域と設置箇所等の調整に入る。

